

コンビニで買った 300ml (±10%) のお酒

「2016年 (現在)」 と 「2006年 (10年前)」

との比較



● 2006年5月号のSienna's Watchingで、「コンビニで買った300ml (±10%) のお酒」をとりあげました。それからちょうど10年。同じ条件で、東京と大阪のコンビニでお酒を購入してみました。● いまや日本人の生活に欠かせない存在であるコンビニで、お酒の商品銘柄や価格はどのように変化しましたか。なお、ビール類やRTDの主流である350ml 缶は300ml±10%にあてはまらないので、サンプリング対象に含まれません。● Ciao, ciao! Sienna is here. Exactly 10 years ago, in May, 2006, I investigated "Alcoholic beverages with 300ml volume at CVS (i.e. Convenience Stores)". I am trying the same investigation now in 2016. Looking the change of line-ups and prices in the decade. ● A very few brands of sake, shochu and beer appear in both 2006 and 2016. Should be very difficult to survive for 10 years. ● 300ml is traditional volume, good to enjoy Sake. 330ml is international standard for bottled beer. However, we can see many of less-than-300ml Sake and less-than-330ml beers. (text & pictures = Sienna K. Emiri)

▼ 2016年 (=現在)



▼ 2006年 (=10年前)



シーナの私的考察

● 10年の変化観察、その1:「価格→概ね正常?」  
消費税は、2006年5%、2016年8%。同じ商品なら3%値上がりして当然のはず。10年の間には酒税改訂もありました。2006年と2016年の両方に現れる商品の価格を見てみます。  
■ 3%以上、値上がりしたものの  
白鶴・生貯蔵酒 300ml: 352円 → 373円 (+ 6.0%)  
沢の鶴 1.5CUP 270ml: 225円 → 236円 (+ 4.9%)  
いいちこ 300ml Bottle: 441円 → 483円 (+ 9.5%)  
■ 3%の値上がり  
サントリー・SKYY BLUE 275ml: 242円 → 249円 (+ 2.9%)  
キリン・スミノフ ICE 275ml: 242円 → 249円 (+ 2.9%)  
■ 同じ・または値下がりしたもの  
玉乃光・275ml: 500円 → 500円 (±0.0%)  
ギネスビール (widget ball 入り) 330ml: 298円 → 295円 (▲ 1.0%)  
清酒・焼酎はこの10年でメーカー値上げがあったことが反映されているものがある一方、CVS 企画商品などでは値上げしていない商品もあるようです。ギネスビールの値下がり、販売者がサッポロからキリンに変わったことが影響しているのかもしれませんが、何かにつけ、酒類では販売競争が話題になりますが、コンビニのお酒、なかでも300mlクラスのお酒を10年スパンで見ると、価格は概ね正常レベルに維持されているようにも見えます。一方、より安価な競合品や新たな企画商品が常に出現していて、値上げすることやコンビニの棚で生き残ることは、なかなか難しいことがわかります。

● 10年の変化観察、その2:「容量→ダウン・サイジング?」  
10年前、コンビニで350ml 缶 (日本スタンダードサイズ) 以下の容量のビールは330ml びんだけでした。びん入りビールでは330ml が世界スタンダード容量。何年前か、サントリーのプレミアムモルツが、びんではなく330ml の缶で登場したのは少し驚きました。ところが2016年にサントリーが Master's Dream で305ml びんという、330ml 以下の商品を発売。その後、キリンも Single Malt で305ml びんをラインナップ。  
清酒で300ml (清酒のスタンダード容量) 以下の容量は、2006年からLAWSON 企画の275ml びんの地酒がありましたが、2016年には月桂冠・特別純米酒 280ml が加わっています。また、300ml±10%に該当しないので写真はありますが、250ml の清酒 (白鶴、月桂冠) も CVS に並んでいます。  
かつては「増量+価格維持=お得感あり」でしたが、今は「ダウン・サイジング+高価格=トレンド」であるように思えます。ただ「増量商品は容量を大きく表示」するのに対し、「ダウン・サイジング商品の容量表示は目立たせない」のが一般的なようで、容量差を消費者がどこまで認識しているかはわかりません。  
因みに私の故郷のイタリア、それにEUの国々では、規制があってお酒のびん製品は決められた容量の製品しかありません (ワインなら350、750ml など、スピリッツなら500、700ml など) でした。ところが最近では、パッケージの多様化にともなってイレギュラー容量の商品を見かけることが多くなった気がします。

● 10年の変化観察、その3:「300ml±10%のビール→増加傾向」  
350ml 缶は300ml±10%の条件に該当しません。2006年、国産ビールではキリン・一番搾り無濾過 330ml びんだけが該当しました。その後の10年で、「プレミアム・セグメント」と「クラフト・ビール」が成長し、2016年にはキリンのびんほか、サントリーのびんと缶がコンビニの定番になっています。価格帯も上がっていますね。スーパーでは今や定番のクラフト・ビールは、棚スペースの限られたコンビニではマイナーではあるものの、ネストビール (コリアンダーやオレンジビールの入っている発泡酒区分) を見つけました。  
ビール類 (ビール、発泡酒、第三のビール) の酒税均一化を控え、ビールで300ml±10%の商品 (たぶん、ガラスびん製品) は、今後増えると思われる。  
● 10年の変化観察、その4:「出現したジャンル」「消えたジャンル」  
「ワイン (ぶどうのワイン)」、「ウイスキー」、「スパークリング清酒」は、2006年には300ml±10%の条件にあてはまる商品はありませんでした。2016年は複数のブランドがコンビニに出現。ワインはボトル缶、ガラスびん、PET ボトルの商品があります。ウイスキーではサントリーとニッカが300ml びん商品投入。スパークリング清酒は、2006年にすでに多くの銘柄がありましたがコンビニでは売られていませんでした。しかし、宝酒造・澤の人気の2016年は複数の銘柄が並ぶようになりました。また、商品数は1品ずつですが、キリンの「Flaveer」とサントリーの「サングリア」も2006年になかった新しいジャンルのお酒です。  
一方、300ml びんの焼酎 (「ポケットびんスタイル」ではない、「清酒の300ml びんスタイル」の本格焼酎) は、ご覧の通り2006年には多くあったものが、今回調査した東京と大阪のコンビニでは見かけませんでした。また、泡盛も2016年には調査したコンビニで発見できませんでした。

● 25年ほど前に始まったコンビニのお酒販売→重要性はさらに強まる?  
25年前、1991年頃には、そもそもお酒を販売しているコンビニはとも少なかつたと思います。その後、酒類販売免許の自由化が進み、10年前の2006年時点では多くのコンビニで酒を売られるようになっていました。今では、酒を売っていないコンビニは、学校内コンビニや病院内コンビニなどを除けばほとんど皆無。お酒販売ライセンス付与に消極的な欧米に比べると対照的です。  
10年前のSienna's Watching のコメントでは「大手コンビニ4社で購入したサンプル」とあります。その後、am/pm はファミリーマートに買収され、2016年は「3社で購入したサンプル」。コンビニ業界では買収と再編が進み、調達力 (お酒メーカーに対する価格交渉力) はさらに強化されつつあると思います。  
日本経済や人口減少を考えればコンビニ市場がこれから大きく成長するわけではないにしても、日本国内の酒類販売におけるコンビニの重要性はさらに強まる傾向があると思われますね。  
(text = シーナ・エミリ)

清 = 清酒、S清 = スパークリング清酒、ピ = ビール、ピ発 = ビール系発泡酒  
泡 = 泡盛、焼 = 本格焼酎、混 = 甲乙混和、ウ = ウイスキー  
ワ = ワイン、リ = リキュール、梅 = リキュールのうち梅系  
■ 2006年のサンプル: 「酒うつわ研究」06VのSienna's Watchingから転載。表示価格は、2006年4月にコンビニエンスストアで購入した時のレシートによる。消費税込み。  
■ 2016年のサンプル: 東京と大阪の大手コンビニ3社 (セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート) で、2016年4月に購入。紙幅の都合で似た性格の商品は掲載していないものもあります。表示の価格は、購入したときのレシートによる。消費税込みの価格です。  
■ 容量は、300ml以外の場合のみ記載しています。